政治分析入門　５

レントと政治

* レント− 支払われるべき価格（一物一価の法則）と実際に支払われる価格の差。規制によって現れる。**レントは政治によって現れるものである。**↓
* レント・シーキング− レントを求めて経済主体が政治主体に働きかける。
* レントを守るための努力（レントによる損益を被る消費者全体より利益を享受する小団体・利益集団の方が政治的働きかけが活発になる傾向がある（フリーライダーの問題））
* → 鉄の三角同盟

利益集団・政治家・官僚

車検制度と鉄の三角同盟

* 車検制度が生み出す利益  
  義務化されている定期的な車検が高額。中古車などの車検（一年に一度など頻繁）に費用がかかってしまい、新車（三年に一度）の方が安いという事態が生じている。
* 業界団体　日本自動車整備振興会連合会　（**利益団体**）  
  → 現状の車検制度の存続を要求
* **政治家**　議員連盟　自動車整備議員連盟（自民党）  
  → 規制を通じて利益団体のレントを守る。  
  　選挙で役に立つ。資金援助を受ける。
* **官僚**　旧運輸省　検査場　→ 国土交通省
  + 車検を行う検査場を政府が有し、政府が行っていた。そのため、政府官僚の職業を守るためにも、盛んな車検が役立つ。
  + 自動車検査独立行政法人が成立
  + 軽自動車検査協会→ 官僚の天下り先としての民間団体

→ 車検制度を包囲する　**鉄の三角同盟**

最近の例

* 全石連（全国石油商業組合連合会・全国石油業協同組合連合会の総称）と民主党政権
* 自民党の「街の酒屋さんを守る国会議員の会」（田中和徳会長）
* 中小の酒販店で作る政治団体「全国小売酒販政治連盟」（酒政連）

集団理論

* 利益集団−レントなどによる自身の利益を守ろうとする団体。このような利益集団が競合し、お互いの利益のために戦って政治に影響力を働かせる↓
* **集団政治**　**group politics**
* 集団にとってのコストとベネフィット
  + 利益確保のためのコスト＜ベネフィットとなるように競合する。
  + 例：自動車整備業会と自動車オーナー
    - 自動車整備業会は厚く、過剰な車検体制を維持したい
    - 自動車オーナーは車検のスリム化を行いたい
    - 利益の対立→ 政治。
* 利益集団は既得権益を擁護している（レントの追求）
* このような大きな声（活発で精力的な働きかけ、頑張っている）が政治に反映されることは悪いこと？
* 多元的民主主義と集団政治
  + 政治は多数の利益集団による抑制と均衡の結果営まれる
  + **政治は流動的であり**、利益集団の利害の対立と調整によってバランスよく営まれる
* 多元的民主主義論の政治イメージ
  + 重複メンバーシップと潜在的利益集団
    - 重複メンバーシップ−複数の利益集団に重複して属する人がいる→ 利害の調整や対立の自制など
    - 潜在的利益集団−ある集団の勢力的な働きかけへの反作用として、今まではdormant だった新たな利益集団が現れる。
    - 多元的民主主義論の調整装置として作用する。
  + 流動的な政治、多元的な権力構造、均衡としての政治決定
    - 流動的な政治− 政治は流動的であるとする。しかし、本当か？鉄の三角同盟など、政治が固定化されていないか？
    - 少数者優位 – 鉄の三角同盟を構成する業界団体、利益団体はいつも少数派！  
      なぜ国会議員は多数派を相手にしないのか？お金？票？  
      → フリーライダー問題と集団の規模  
      　繰り返し囚人のジレンマゲームと将来の影

経済心理学

* プロスペクト理論
  + １００万円の借金　賭けて一掃か５０万円返す
  + １００万円の儲け話　賭けて満額か賭けずに５０万か
* 時間非整合性
  + 今日5000円もらうか来週5500円もらう
  + 来年の1/1 に5000円もらうか1/8に5500円もらうか
  + 時間感覚の非整合性に影響される決断
* ５０％の確率で１万円もらえるチケット
  + 自分が所有する場合いくら？
  + 他人が所有している場合いくら？

説明されるべき事実

* なぜもっとレントを増やさないのか？→ **潜在的利益集団**による抑制（多数派、フリーライダー問題によりまとまらないとする反論も）
* なぜ変化が観察されるのか？（車検制度、食糧管理制度もゆっくり変化してきた）
* 既得権益の存続と変化
  + ポピュリズム現象の二面性（既得権益を存続させるのか、変化させるのか？）
  + 利益配分と政治　再分配問題へ

鉄の三角同盟の変容

* 変化の原因
  + 政治資金規正（政治家と利益団体の関係の変化）
  + 天下り規制（官僚と利益団体の関係の変化）
  + 規制緩和（鉄の三角同盟の緩みに相互的に影響しながら並行）
  + 政治的企業家「ちょっと異なる損得計算」（有名になりたい、モラル的でありたいといった、金銭的利益のみを求めないものの台頭）
  + 選挙制度改革（上のようなことなる損得計算の候補を支えるような

消費者のレント（政府の介入と規制の結果、消費者価格が市場価格より下がる場合）はレントと呼べるのか？　→ 呼ばない　塚田TA

呼ばない　消費者の方に損益がなければレントとは言わない。